

TASUC 自立の学校・鎌倉（放課後等デイサービス） 事業所における自己評価結果(公表)

令和6年2月調査 ○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		当日の利用人数によって机や椅子の配置等の構造化を変更しながら運営を行なっています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	3	1			移動支援を行うスタッフの増員を検討しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	1	現在、身体障害のお子さんは利用がないため、教室までは階段を利用しています。手すりや夜間灯を設置しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			日々のMTG、月間でのMTGを通して、目標設定を行なっています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4				
	6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4			法人本部からの視察を受けて、評価改善している。	第三者評価については、法人本部と連携して検討している。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			週に1度スタッフ研修の機会を設けて、事例検討などを行なっています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			入会前に本人の体験と保護者との面談を行い、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4				
	11 活動プログラムの立案をチームで行なっているか	4			他教室とも連携しながらプログラム立案を行なっています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			年間を通じてプログラム内容が固定化しないよう計画を立てています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			それぞれの日に応じて、課題やプログラム内容を検討、実施しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			個別活動場面での狙いと集団活動場面での狙いをそれぞれ設定しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎日、事前MTGを行なっています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		支援終了後は出来る限り打ち合わせを行なっていますが、シフトの都合で難しい場合には、連絡ツールを用いて共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			共通の記録ツールを活用し、日々の記録を丁寧に行なっています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			6ヶ月に一度のモニタリングを実施しています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4				活動内容を個別支援計画等でも明確に示していきます。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			児童発達管理責任者はじめ、適切なスタッフが参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2			医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		就学前に利用していた機関との連携は適宜取っています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			個別支援計画の共有を行なっています。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	3	1		社内での助言や研修を受けることは定期的に実施しています。児童発達支援センター等とも必要に応じて連携を図っていきます。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2		イベント等では、障がいのない子どもとの活動の機会を作っています。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		社内の担当スタッフが参加しています。	
保護者への説明責任等	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4				
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4				
	30 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4				
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4				
	35 個人情報の取扱いに十分注意しているか	4				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1		イベントによっては、地域住民の方にも参加してもらおうような内容にしています。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1			マニュアルの作成はしているが、スタッフ間での共有を徹底していきます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年に4回の避難訓練を行なっています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1			
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4					
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	1	個々のヒヤリハットに対してはスタッフ間で共有して対応を検討しています。	ヒヤリハット事例集の集約場所を確立させます。	